

神奈川県介護予防事業市町村支援委員会専門部会 開催報告  
 (専門職員等派遣事業の施策の方向性について)

高齢福祉課

開催日時	令和7年12月5日(金) 19:30~21:00
開催方法	オンライン開催
出席者	専門部会委員 16名 (詳細は参考資料2参照)
会議の報告	<p><b>&lt;副部会長の交代&gt;</b> 委員の交代に伴い、副部会長が選任された。</p> <p><b>&lt;報告事項&gt;</b>  <b>(ア) 県事業報告</b>  <b>・市町村介護予防事業支援のための人材育成事業の実施状況</b>        専門職、市町村担当者向けに実施した研修について報告した。        ○初級研修(オンライン開催) 令和7年9月16日 受講者 99名        「通いの場におけるフレイル予防 実践編」        講師：かながわ福祉サービス振興会 成田慎一氏、他        ○中級研修(オンライン開催) 令和7年10月24日 受講者 101名        「通いの場におけるフレイル予防 応用編」        講師：千葉大学名誉教授 近藤克則氏、他        ※初級・中級ともにオンデマンド配信を実施(11月15日~12月14日)</p> <p><b>・市町村介護予防事業担当書職員等研修会の実施状況</b>        市町村の介護予防事業担当者及び地域包括支援センター職員向けに実施した研修について報告した。        ○基礎研修(オンライン開催) 令和7年7月28日 受講者 220名(27市町村)        「介護予防ケアマネジメントの考え方(基礎編)」        講師：神奈川県地域包括ケアシステム統括アドバイザー 松川竜也氏        ○第2回(オンライン開催) 令和8年3月4日 受講申込 60名(28市町村)        「加齢性難聴における補聴器の適応と補聴器装用訓練について」        講師：けいゆう病院 耳鼻咽喉科部長 山田浩之氏、他        ○第3回(オンライン開催) 令和8年3月16日(予定)        「介護予防ケアマネジメントの考え方」</p>

講師：神奈川県地域包括ケアシステム統括アドバイザー 松川竜也氏

#### ・介護予防機能強化のための伴走支援事業の実施状況

令和7年度の取組状況について、支援の進捗状況、内容を報告した。

神奈川県保健福祉大学田中和美教授、作業療法士会、歯科衛生士会のアドバイザーとともに、横須賀市、藤沢市に対して伴走支援を実施した。総合事業の見直しに向けた施策案の検討や、地域ケア個別会議の活性化に向けた検討など、グループワークを取り入れながら実施し、それぞれの専門職の立場から助言を行った。

#### (イ) 県内市町村の介護予防事業の取組先行事例（川崎市）

川崎市の介護予防事業の取組について報告があった。

川崎市では高齢者分野における地域リハビリテーションの取組を強化するため、地域リハビリテーション支援拠点を設置し、専門職がケアマネジメント支援、介護予防活動支援に関与し、サービスの質の向上や連携促進に取り組んでいる。

#### (ウ) 専門職員等派遣事業を通じた市町村への関わり・支援について

専門職員等派遣事業の中で作業療法士として、市町村にどのような支援を行ったか取組事例が紹介された。

#### (エ) フレイル予防推進会議及びフレイル測定の取組

第3回フレイル予防推進会議総会・シンポジウム（令和7年11月20日開催）にて、神奈川県における未病改善とフレイル測定の取組について報告した。

#### <審議事項>

##### 専門職員等派遣事業の施策の方向性について

地域包括ケア推進のための専門職員等派遣事業について、令和4～令和7年までの3か年の実績を報告した。施策の方向性について、①地域の人材を活用するため、地域資源とどのように連携するか、②通いの場への専門職の関与を増やしフレイル対策を進めるために当事業をどのように展開するか、③今後、どのような専門職派遣事業のニーズが見込まれるか、ご意見をいただいた。

1 専門職員等派遣事業の実績

2 専門職員派遣事業の目指す姿と現状

3 事業の方向性（案）

4 ご意見をいただきたいこと

**（委員からのご意見）**

- ・昨今、医療人材・介護人材が非常に少ない状態で、専門職も少なくなっている。特に地方では専門職をうまく活用していかなければいけない現状がある。
- ・市町村では専門職の確保が難しい状況に、専門職の助言をいただけるのはとてもよい事業だと思う。
- ・どのような時にこの事業を活用できるのかを各専門職が説明した動画を県が作成し、市町村が見られるようになった。わかりやすく非常によい取組だった。
- ・専門職員等派遣事業が十分に周知されていないのではないかな。
- ・広報が非常に重要だと思う。郡市医師会の会長会を通じて、地域の医療機関等にパンフレットを置くなどして周知していくことも検討してはどうか。
- ・利用していない市町村や保険者機能評価等で少し点数が低めの市町村にプッシュ式ですすめていき、課題があれば一緒に取り組んでいくなど、丁寧な関わり方も専門職派遣事業としてあるのではないかな。
- ・派遣実績がない市町村には、派遣のニーズがあるのか、申込を躊躇する理由を確認してもよいのではないかな。
- ・現在は募集期間が限られているので、上半期と下半期で締切を設けるなど、利用しやすい方法の検討が必要ではないかな。

以上